

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【公表番号】特表2013-510018(P2013-510018A)

【公表日】平成25年3月21日 (2013.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-014

【出願番号】特願2012-537841(P2012-537841)

【国際特許分類】

B 2 8 B 3/02 (2006.01)

E 0 4 B 1/86 (2006.01)

C 0 4 B 38/00 (2006.01)

【F I】

B 2 8 B 3/02 K

E 0 4 B 1/86 A

C 0 4 B 38/00 3 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月29日 (2013.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

厚み D を有する鑄造材料のシートを製造する方法であって、

複数の突出するセル (3) をあるパターンで有する第 1 の表面 (2 a) を含む第 1 の成形鑄型 (1 a) を供給するステップを含み、前記セルは最大高さ H 1 突出し、 $H 1 < D$ であり、さらに、

複数のセル (3) をあるパターンで有する第 2 の表面 (2 b) を含む第 2 の成形鑄型 (1 b) を供給するステップを含み、前記セルは最大高さ H 2 突出し、 $H 2 < D$ であり、さらに、

2 つの離間された成形鑄型の間に鑄造物質 (4) を配置するステップと、

前記鑄造物質中の閉じ込められた空気を除去するために、2 つの表面が互いから距離 D となるまで前記成形鑄型に圧力をかけるステップと、

前記鑄造物質を硬化させるステップとを含む、方法。

【請求項 2】

最大セル高さの和が D より大きい、つまり $H 1 + H 2 > D$ である、請求項 1 に記載のシートを製造する方法。

【請求項 3】

最大セル高さと同前記鑄造物質の最大粒径との和は前記シートの厚みより大きい、つまり $H 1 + H 2 + (\text{前記鑄造物質の最大粒径}) > D$ である、請求項 1 または 2 に記載のシートを製造する方法。

【請求項 4】

前記成形鑄型 (1 a) および (1 b) は可撓性である、請求項 1 から 3 のうちいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記成形鑄型の少なくとも一方はプラスチック箔である、請求項 1 から 4 のうちいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

前記鑄造物質はセメントベースの物質である、請求項 1 から 5 のうちいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

表面抑制剤が前記成形鑄型の少なくとも一方に添加される、請求項 1 から 6 のうちいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

加圧中の前記成形鑄型のパターンの少なくとも一部は互いに関して変位されるか、または、前記成形鑄型のパターンは、前記第 1 および第 2 の成形鑄型のパターンが互いに関して変位されるように配列されるか、または、前記成形鑄型のパターンは、前記第 1 および第 2 の成形鑄型のパターンが整列されるように配列される、請求項 1 から 7 のうちいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

前記鑄造物質 (4) は前記第 1 の表面 (2 a) 上に配置され、次いで、前記第 2 の表面 (2 b) が前記鑄造物質に面した状態で前記第 2 の成形鑄型を前記鑄造物質上に配置する、請求項 1 から 8 のうちいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

重りまたはローラーが前記成形鑄型上の 1 点から別の点に移動される、請求項 1 から 9 のうちいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

厚み D で分離された第 1 および第 2 の表面を有する鑄造物質を備えるキャストシートであって、

前記第 1 の表面は最大深さ D 1 を有する複数の空洞を含み、前記空洞はパターンを形成し、

前記第 2 の表面は最大深さ D 2 を有する複数の空洞を含み、前記空洞はパターンを形成し、

$D 1 < D$, $D 2 < D$ であり、 $D 1 + D 2 > D$ である、キャストシート。

【請求項 12】

前記シートは鑄造物質粒をさらに備え、 $D 1 + D 2 +$ 前記鑄造物質の最大粒径 $> D$ である、請求項 1 から 11 のうちいずれか 1 項に記載のキャストシート。

【請求項 13】

前記鑄造物質はセメントベースの物質である、請求項 1 から 11 のうちいずれか 1 項に記載のシート。

【請求項 14】

2 つの表面のパターンは互いに関して少なくとも部分的に変位される、請求項 1 から 13 のうちいずれか 1 項に記載のシート。

【請求項 15】

緑の壁、触媒表面、吸音壁、建設資材、壁、日よけ、窓、型、家具、ランプ、および陶磁器としての、請求項 1 から 13 のうちいずれか 1 項に記載のシートの使用。